



## 女性同士で いきいきと 町女性レクリエーション大会

会場いっぱい広がって大山賛歌体操で体をほぐす皆さん

町女性団体連絡協議会（荒金恵美子会長）主催の「女性レクリエーション大会」が9月21日（日）、中山農業者トレーニングセンターで開催されました。協議会設立後3回目となる今大会は、初めて中山を会場として行われました。町内の女性が一堂に集まり、レクリエーションを通して親睦と交流を深めました。

開会式では「だいせん」ロゴ入りブルーのタオルを身につけ、全員で大山賛歌を歌いました。続いて大山賛歌体操「介護予防編」を行いました。この体操を初めてされる方も多くなか、大山賛歌体操普及員の皆さんの指導のもと、みんなで楽しく体を動かしました。

交流ゲームでは中山地区・大山地区・名和地区・3地区混合の4チーム編成で、お互いに親睦を深めながらいろいろなゲームを楽しみました。午後からの「素敵でショー」では、7団体が仮装あり踊りありと、それぞれ趣向を凝らした華麗なショーを繰り広げ、会場を盛り上げました。

最後は会場いっぱい輪になって全員で「島人ぬ宝」の歌に合わせて踊りました。「私たちは私たちの町の宝をみつきたい、そして大切にしていきたい」という想いのもと、会場の団体である、なかやま女性会議（森本怜子会長）の皆さんがこの曲を選び、振り付けも創作されました。手にはキラキラと光る飾りをつけて華やかに彩られながら会場はひとつになりました。

## 町内で映画ロケが行われます 映画「銀色の雨」



山口町長に撮影の協力をお願いをする竹山チーフプロデューサー（中央）と鈴木監督（右）

「鉄道員」(ぼっぼや)で有名な浅田次郎さんが原作の「銀色の雨」という小説が米子市を舞台に映画化されることが決定しました。新聞配達をしながら陸上選手を志す少年、スナック勤めの女性、引退間近のプロボクサーの3人が同居生活を通して再生する過程が描かれます。ロケは米子市朝日町を中心に境港市、松江市美保関のほか大山町でも行われ、11月中旬から12月下旬にかけて撮影されます。米子市で制作会見が行われた10月7日、チーフプロデューサーの竹山昌利さんと監督の鈴木貴之さんが大山町役場を訪れ、山口町長に映画制作の報告と撮影の協力をお願いしました。主人公の学校として大山西小学校が外側から撮影されるほか、その沿線の線路から見える風車の風景や、御来屋の駅舎とその駅前の町並みなどの撮影が予定されています。スタッフ・キャストで総勢70人が町内を訪れるということで、竹山チーフプロデューサーは「撮影期間をお祭だとなとえ、多くの人にかかわって盛り上げてもらえたらと思います」と語りました。公開は鳥取、島根両県では先行して行われ、全国の公開は来年秋の予定です。